



《将来に向けた取組方針》

愛三工業は事業活動を通して、社会・地球の持続可能な発展に貢献することを環境方針に掲げ、環境保護活動を積極的に推進しています。グローバル化が一段と進む現在において、広く世界に目を向けた取り組みが重要な経営課題の一つと認識し、年々高まりを見せるSDGs達成に貢献できるように、生物多様性の理解を深め、その恩恵を未来に繋げていけるよう取り組んでいきます。

〈具体的取組み事例〉

『人と自然が共生する工場』を目指して、工場の近隣の地域や自治体とも連携して、河川や山林を対象に清掃・整備を行っています。

〈学んだこと・成果〉

マイクロプラスチック汚染の原因の一つになっているモノが今まさに海に流れようとしていること。また、周囲の森の荒廃状況を肌で感じ、身近なところでも、生物多様性が抱える問題を知ることが

できた。そして、自然とふれあう楽しさを今までとは違う目線で感じ、知ることができ、地域住民の方からの感謝の声もあり、企業市民として活動を続ける意義を強く感じた。

本社工場（大府市）



地域の皆様と共に河川の清掃活動を実施。
(2016年5月～)

豊田工場（豊田市）



工場周囲の山林で森づくりを実施。
(2016年12月～)

〈今後の課題〉

- ・ 従業員の理解拡大と意識醸成
- ・ 外来種生物への対応
- ・ 自治体や地域との連携の深化

〈社会に向けたメッセージ〉

愛三工業は、人と自然を大切にし、「人と自然が共生する工場」の実現に向け、取り組みを推進します。